清　原　中　央　小　学　校　　学　校　経　営　全　体　計　画

R７年度版

国　学習指導要領

一人一人の児童が，自分のよさや可能性を認識するとともに，あらゆる他者を価値ある存在として尊重し，多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え，豊かな人生を切り拓き，持続可能な社会の創り手となることができるようにする。

県　栃木県教育振興基本計画２０２５

市　第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画

学　校　教　育　目　標

自ら学び工夫する子ども　―　考える
元気でがんばる子ども　―　鍛える
礼儀正しく思いやりのある子ども　―　思いやる

具体目標　確かな思考力・判断力・表現力等を培い，心の教育を重視しながら，強じんな気力・体力及び思いやりのある心並びに主体的な実践力を身に付け，自らの心身の向上とより良い社会の発展に貢献し，心豊かでたくましく生きようとする児童の育成を目指す。

【学校評価マネジメントシステム】
児童・保護者・地域・教職員へのアンケートによる学校運営の改善と開かれた学校づくり

【 清原地域学校園小中一貫教育ビジョン 】
自己を見つめ，自己のよさを生かした夢の実現に向けて主体的に取り組む児童生徒の育成
～ 人や地域との豊かなかかわりを通して ～

1　小中一貫教育カリキュラム(432 制の実施
2　小学校高学年の教科担任制

児童指標・合言葉　夢いっぱい　友だちいっぱい　清央小

目指す学校像１
児童が楽しく学び合い，居がいを感じる学校

柱１　夢を育む教育活動の推進

児童が，自分たちの生活を自らよりよくしていこうとする活動の充実を図り，「夢いっぱい　友だちいっぱい　清央小」のスローガンを目指した活動「夢いっぱいプロジェクト」に取り組む。
また，縦割りドリーム班活動により，心豊かで思いやりのある児童を育てる。

主な具体的な取組

◎ **夢いっぱいプロジェクト**
○ 夢チャレンジタイムと宇都宮学の充実
　・発展する清原地区との関連を図るカリキュラムマネジメントの構築
　・社会参画意識を育むキャリア教育や主権者教育
○ 縦割り班による異学年交流の充実
　（農園活動，ドリームタイム，もくもく清掃等）
○ 学級活動と児童会活動の活性化
　（児童主体の運動会，児童朝会，ドッジボール大会，長縄大会など）
○ 日常的な体力向上や体育行事への取組

柱２　未来に向かって「生きる力」を育む指導の充実

学びの個別最適化による基礎・基本の指導の徹底，**協働的な学びによる**思考力・判断力・表現力等の育成を図るとともに，学びに向かう力・人間性を高めることで，未来を生き抜くために必要とされる資質・能力を着実に身に付ける。また，健康・体力づくりの推進とともに，生活面の基本となる挨拶などを通して，人間関係力の向上を目指す。

主な具体的な取組

○ 自分の考えをもち，豊かに表現する授業
○ 学力向上と児童指導を一体的に進める教科担任制
　・指導者の専門性，協働性を生かした授業づくり
　・モジュールを有効に活用した学習指導の工夫
　・授業時数適正化による，メリハリのある学習指導
○ ＩＣＴ機器を活用した教育の更なる充実とデジタルシチズンシップの育成
○ 手のひらあいさつや，もくもく清掃等の生活習慣づくりと心の教育
○ 保護者との連携やタブレット端末を活用した家庭学習の充実と望ましい学習習慣の形成

柱３　学年・学級経営の充実と個に応じた支援の強化

児童にとって**楽しく居がいのある学校**であるために，一人一人に応じた支援を行うとともに，学年・学級経営の充実に努める。また，人権尊重の意義について理解とお互いの人権に配慮した行動ができる児童を育てる。

主な具体的な取組

○ 「居がいのある学年・学級づくり」に向けた取組の推進（教科担任制，共遊，学級自慢週間）
○ 問題行動（いじめ・不登校等）の組織的な対応と，対応のマニュアル化。
○ クラウド化で効率化した年間６回の生活アンケートによる，学校・家庭における問題の早期発見及び初期対応の迅速化
○ 日常的に人権を大切にする指導の強化（人権週間，いじめゼロ運動の推進）
○ 子供の多様性や適応状況を踏まえた適切な支援の充実と交流の推進（特別支援学級，にほんご指導教室，きよおう教室）

目指す学校像２
教職員が協働で探究し指導力を発揮する学校

柱４　教職員の資質・指導力の向上

「全ては子供のため」の合言葉の下，教職員は，確かな学力の向上に向け，学習指導や児童指導等の教育活動，教科担任制や GIGA スクール構想などの新たな教育課題を協働で探求する。

主な具体的な取組

○ 教職員行動規範の徹底と各課題へのチームによる対応の強化【**清央 PRIDE**】
○ ワークライフバランスを意識した働き方改革と業務のＤＸ化
○ 「はっきり」「じっくり」「すっきり」を意識した授業改善
○ 「社会に開かれた教育課程」の推進と「カリキュラムマネジメント」の有効化
○ 学校安全の管理の徹底と体制強化
　（日常的保健安全意識・危機管理能力の向上）
○ 教職員としての「感性」を磨く意識の向上
　（職務年齢等に応じた各種研修への参加の推進）

目指す学校像３
保護者・地域から信頼される魅力ある学校

柱５　地域と共にある学校づくりの推進

豊かな自然環境と社会環境を有効に活用した教育活動を通して，地域への愛着をもって，生き生きと生活する児童を育てる。また，学校・家庭・地域，地域学校園，教育関係機関との連携を強化し，児童はもとより，保護者，地域住民から愛される「**おらが学校**」を目指す。

主な具体的な取組

○ 魅力協の学校経営参画とＯＢ会の学校支援
○ オープンスクール，ホームページ，各種たより等による情報発信の充実
○ ＰＴＡ・地域行事等への参加及び協力
○ 地域の人々とのふれあいを通した教育活動の推進（サツマイモづくり，収穫祭・授業ボランティア，地域内体験学習等）
○ ボランティアによる朝の読み聞かせ
○ 地域協議会員・保護者・教職員による「熟議」の実施
○ スクールガードの協力による通学路の安全確保
○ カリキュラムマネジメントの視点からの学習活動における地域人材の活用（ミシンボランティア等）